

慶應義塾大学病院との共同研究について

- 在宅時のデータを病院とつなぎ、医療的な活用余地を大学病院と共に研究することで、より正確な医師の診断支援、医師と患者のコミュニケーションサポートなど、人々が健康的でより良い医療サービスを享受できるようなサービス開発に努めてまいります。

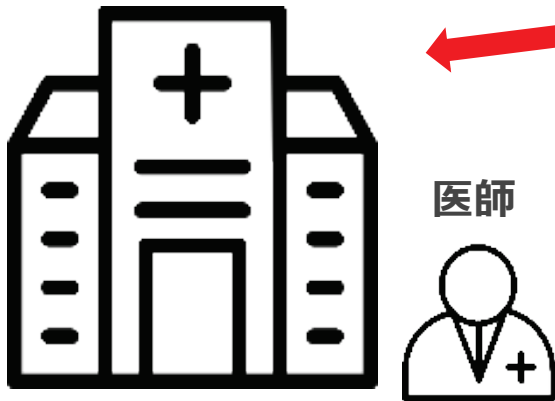
大学病院のメリット

- ・患者の自己申告ベースでは無く、実データに基づいた正確な診断・指導

個人のメリット

- ・病気に応じた宅内環境の快適化・生活環境の改善など

慶應義塾大学病院 レポート・データ提供



医師

中電
クラウド在宅時の状況を送信
(電力使用量・室内温湿度・
心拍数・呼吸数などのデータ)

在宅時のデータ送信

スマートメーター



Cube



患者



環境センサ バイタルセンサ

医師⇒患者：宅内環境チェック・生活指導